

(イ) 業態別 重大事故発生状況

平成30年中における事業用自動車の重大事故発生状況を、事業の業態別に示すと〔表 4〕のとおり。

総件数364件に対する業態別発生件数の割合は〔図 4〕にあるように、トラックによるものが最も多く全体の44%を占めており、次いでバス40%、ハイタク16%となっている。

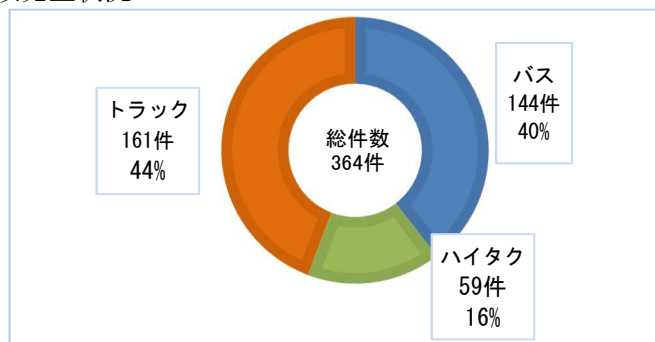
業態別の死者、重傷者の内訳をみると〔図 5〕のとおりで、死者の内78%がトラックによるもので、ハイタク17%、バス5%となっている。また、重傷者については45%がトラックによるもので、ハイタクが35%、バスが20%となっている。

業態別事故100件当たりの人身被害者数は〔表 4〕のとおり、死者の発生状況ではトラックによるものが最も多く36.6人、次いでハイタクが22.0人、バスが2.8人となっており、重傷者についてはハイタクが最も多く74.6人、次いでトラックが35.4人、バスが17.4人となっている。

〔表 4〕業態別 重大事故発生状況

| 区分 | | 業態別 | バス | ハイタク | トラック | 合計 |
|--------|-----|-----|------|------|------|------|
| 件数 | | | 144 | 59 | 161 | 364 |
| 死者 | | | 4 | 13 | 59 | 76 |
| 負傷者 | 重傷者 | | 25 | 44 | 57 | 126 |
| | 軽傷者 | | 61 | 26 | 56 | 143 |
| | 計 | | 86 | 70 | 113 | 269 |
| 事故百件当り | 死者 | | 2.8 | 22.0 | 36.6 | 20.9 |
| | 重傷者 | | 17.4 | 74.6 | 35.4 | 34.6 |
| | 軽傷者 | | 42.4 | 44.1 | 34.8 | 39.3 |

〔図 4〕業態別重大事故発生状況



〔図 5〕人身被害者数の内訳

